

— Recruitment

メディカルチーム 募集要項



～医師編～

202606

 Japan Heart

目次

01	メディカルチームとは	10	採用～参加までの流れ
02	活動地・活動期間・活動開始時期	11	応募方法
03	主な役割	12	待遇
04	業務内容	13	体験談
05	募集科目	14	OBOGの活躍
06	応募条件	15	よくある質問
07	求める人物像	16	応募に関するお問合せ
08	期待される能力		
09	選考プロセス		

01 メディカルチームとは

ジャパンハートの海外医療現場で長期間活動するメンバーの総称。
医師や看護師をはじめとするメンバーが臨床医療の実践を通じて自身の専門性や経験を活かしながら現地人と一緒にワンチームで活動しています。



02 募集科目

- 小児領域（小児科・小児腫瘍科・小児外科・小児集中治療科など）
- 内科・一般外科・産婦人科



小児領域の医師が特に不足しています。上記以外の診療科についてはご相談ください。

03 応募条件

- 臨床初期研修終了者以上（専門科は不問）
- ジャパンハートの体験コース、もしくは短期ボランティア参加経験者
- ジャパンハートの一員として活動して頂くため、活動への理解があり
Vision / Mission / Valueにコミットできること
- 長期活動の特性および安全管理上の観点から、初回応募は原則65歳以下の方を対象としています

04 応募準備・選考プロセス

● 応募準備

01

海外短期プログラム
申込

ホームページの参加
申込フォームに入力

02

海外短期プログラム
参加

カンボジアの医療活動に参加

03

メディカルチーム
応募

メールにて提出書類を送付
*次ページ参照

● 選考プロセス

01

書類選考

提出書類をもとに、応募
条件・参加時期適正など
審査

02

面接選考

原則：2次面接まで
*オンラインで実施

03

採用決定

活動開始時期の調整を
します

05 メディカルチームへの応募方法

提出書類(様式自由)を、メールで送付ください。 ※メールタイトル:(お名前)採用エントリー(職種)



medical_hr@japanheart.org

提出書類

- ① 履歴書 ※ご希望の活動開始時期を記載してください
- ② 職務経歴書
- ③ エッセイ ※書き方は以下参照



ジャパンハート行動指針(以下リンク先A～Lの12項目)から1つ選択し、その項目をご自身で実行された具体的なエピソードをあげながら、以下の点を意識してご記載ください。→ [ジャパンハート行動指針はこちら](#)

- ・そのエピソードの中でご自身が学び、仕事そして人生に生かされていると思うこと。
 - ・そのエピソードの中でご自身がどのように考え、自分の人生にどのような影響があったか
 - ・そのエピソードの中で得られた価値観、価値観が大きく変わったという経験
 - ・今回選択された行動指針を踏まえて、ジャパンハートをなぜ志望したのか、ジャパンハートで実行していきたいこと
- ※すべて網羅する必要はありませんが、どんな考えをお持ちの方なのかがわかるようにご記載をお願いします。

提出期限

通年募集。ご希望の[参加開始時期の3カ月前](#)までにご応募ください。

06 採用後～渡航(参加)までの流れ

01

必要手続き・書類準備

現地での活動にあたり必要な手続き・書類を準備します。

02

キックオフ研修

2日間のキックオフ(東京実施)に参加します。ジャパンハートVMVや活動全般、国際協力などについて考え深めるほか、ブリーフィングを行います。

※定期開催(4・7・10・1月第1or2週目)

03

渡航準備

航空券やビザ手配など、渡航に向けて準備をします。

04

渡航

活動地へ出発します。

07 主な役割

参加する医師の経験・キャリアに応じて、担う役割が異なります

01

チームの一員として 診療実践

現地人とともにチームの一員として診療活動に取り組む。まずは現場を知り、チームの中で自分の役割を果たしながら経験を積む。

求められる力

現場の状況を観察し、限られた資源の中で自ら判断・実践できる力

02

診療をリードし、 教育にも関わる

即戦力として診療をリードしながら、現地人医療者の育成・指導にも積極的に関わる。

求められる力

「なぜそう考えるのか」という判断の根拠を共有し、現地人が自立して動けるよう支援できる力

03

技術移転・安全管理 をリードする

現地人への技術移転や教育プログラムの構築、医療安全管理をリードする。

求められる力

継続可能な医療につながる改善を立案・実行できる力

08 業務内容

診療

- 現地病院の事情に応じた、疾患や症状に対する診断および治療。慢性疾患の管理
- 救急対応、搬送調整

地域・連携

- 現地のコミュニティや患者を対象に、必要に応じて公衆衛生指導(文化的背景を踏まえた異文化診療能力が求められる)
- 隣接する医療機関をはじめとする他の医療機関との連携
- 日本人短期ボランティアの活動コーディネート

教育・指導

- 専門性に応じ、外来・病棟における現地人医師の指導役
- 現地スタッフ(医師、看護師、助産師など)に対する診療スキル向上のための教育
- カンファレンスやトレーニングの企画・参加・監督。必要に応じて院内のプロトコルの作成等

運営・マネジメント

- アドミンやと連携してのデータ管理(患者ファイル、用紙、統計、データベースなど)
- 薬局と連携しての薬剤管理
- スタッフの健康問題への対応
- 広報活動への協力(インタビュー、活動レポート、講演等)

09 求める人物像

01

理念・チームへの コミットメント

ジャパンハートの理念や活動方針を理解し、組織の一員として責任ある行動ができる人。

個人プレーではなく、チームで協力しながら現地の医療に向き合える姿勢が求められます。

02

主体性と成長意欲

限られた環境や変化の多い現場でも、自ら考え、学び、改善し続けられる人。

課題から目を背けず、自分にできることを模索し続けられることを重視しています

03

適応力・柔軟性

患者や家族、現地スタッフの背景や価値観を理解しようとしながら、誠実に向き合える人。

また、異なる文化や環境の変化を受け止め、柔軟に行動できることを大切にしています。

10 期待される能力

01

現場を捉える力

患者や地域、医療現場の状況を観察し、本質的な課題やニーズを把握できる力。

02

判断・工夫する力

限られた資源や変化
する状況の中でも、
自ら考え、優先順位
をつけながら行動で
きる力。

03

専門性を活かす力

自身の専門知識や経験
を現場で発揮し、患者
への医療提供や現地ス
タッフの育成、医療の
質向上に活かせる力。

11 活動地・活動期間・活動開始時期

活動地

海外(カンボジア・ミャンマー・ラオス)



ご専門の診療科や現地のニーズなどによって活動地を決定します。事業の医療活動状況や人員によって活動拠点が変更になったり、他国の医療活動に一時的に参加する場合があります。

活動期間

原則として半年以上



メディカルチームで活動後、さらに長期的に活動したい方は、職員採用へご応募いただけます
※採用選考あり

活動開始時期

ご希望の参加時期と現地の人員状況をすり合わせて決定



面接時に参加希望時期をお聞きします。

12 待遇

● 経費は自己負担

主な経費

- 航空券・海外傷害旅行保険・食費・共益費・雑費
※ジャパンハート宿舎は無償提供
- 予防接種費用
- 東京でのキックオフ時の移動費・宿泊費
- ジャパンハート医療従事者会費（活動参加にあたり会員登録が必要）

● 生活補助費の支給

海外活動7カ月目より支給(200\$ / 月)

13 体験談



小児科

近藤 雄介さん

Q 海外での活動内容を教えてください。

- ・小児がん入院患者の診療、成人入院患者の診療、外来診療
- ・小児BLSや小児ALSのシミュレーション教育
- ・音楽イベントでのバンド演奏。マジックイベント等の企画
- ・地元の小学生に向けてレクチャー等の教育活動

Q 現地医療の醍醐味は何ですか。

限られたリソースで最大限での結果を出すためのクリエイティブさが鍛えられることだと感じます。日本で生まれた医療者として感謝の気持ちと誇りをもち、カンボジアの人のために貢献できることです。

Q 参加者へのアドバイスをお願いします。

どのようなキャリアの方でも貢献したい思いさえあれば、十分に貢献できると感じます。介入する必要のある分野がたくさん残っている未開拓な環境だからです。カンボジアの病院には20代のカンボジア人スタッフが多く働いています。彼らの人柄はすごく魅力的で、ワイワイ仲良く働いていました。ぜひ一度、現地を見に行ってみてください。

14 OBOGの活躍



総合診療科・家庭医

進谷 憲亮さん

2018年ジャパンハート参加。
現在はクリニックを開業し、家庭医として子どもからご高齢の方まで年齢問わず外来診療・在宅医療に携わる。



小児循環器内科・内科

押谷 知明さん

2018年ジャパンハート参加。
現在はクリニックを開業し、全年齢を診るプライマリケア医として地域医療に従事している。



消化器外科

北川 祐資さん

2014年ジャパンハート参加。
現在は日本で外科医として勤務しながらジャパンハート認定医として定期的に海外活動に参加している。

15 よくある質問：1/2

Q 英語はどのくらいのレベルが必要ですか。

カンボジア・ラオスで活動する場合、現地人スタッフとのコミュニケーションが英語になります。一方で現地人スタッフも英語は母国語ではないため、流暢な英語や難解な英単語が通じない場合があります。そのため上級者レベルの英語より、中学生レベルの文法と英単語を使って相手に伝わるコミュニケーションが重要になります。カルテの記載は英語です。診療には優先的に通訳が付きます。また基本的にはWi-fiがあるのでインターネットで調べることも可能です。

※現地の患者さんとのコミュニケーションは現地語になりますので、通訳を紹介します。

Q 日本の国家資格免許でなぜ海外で医療行為ができるのですか。

ジャパンハートが各国の政府(保健省など)と覚書を交わしています。そのため、ジャパンハートの一員として活動する医療者に限っては、日本の国家資格免許での医療行為が特別に許可されています。

15 よくある質問：2/2

Q

メディカルチーム活動終了後も引き続き海外で活動することはできますか。

できます。その場合、スタッフ(有給職員)となりますので、スタッフ採用フローにのって面接をさせていただきますが、採用となった場合、長期的に活動いただけます。現在海外で働いている医療者スタッフはメディカルチーム出身です。

Q

予防接種は必須ですか。

外務省が推奨する予防接種をご案内しています。必須・推奨について以下をご参照ください。必須の予防接種をされていない場合、活動場所を制限させていただく場合があります。

【必須】麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘：

罹患歴がある or 2回以上の予防接種歴がある or 血液検査で抗体が証明されている

【医療者は必須・非医療者は強く推奨】B型肝炎：

2回もしくは3回以上の予防接種歴があり、抗体が証明されている(or 最終の接種歴が5年以内)

【推奨】A型肝炎・破傷風・日本脳炎・狂犬病・腸チフス

Q

現地の治安は大丈夫ですか。

原則的に現地の治安が保たれている状況下で活動していますが、屋内・外出時に限らず、貴重品の管理は自己責任のもと十分にお気を付けください。特に移動時や買い物時などは外国人目当てのスリやひったくりなどが発生しています。現場のルール・及び安全管理マニュアルがありますのでそれに従ってください。また渡航前のご自身でも十分な情報収集と対策をお願いいたします。

16 応募に関するお問合せ

メール

medical_hr@japanheart.org

メディカルHR担当

オンライン個別相談

メディカルチームへのご応募を検討されている方を対象に、オンラインによる個別相談を受け付けています。語学力、経験値、参加時期など個別のケースに応じて対応します。お気軽にお問合せください。



